



志塚 昌紀 Shizuka Masanori 4期



siz.mas@gmail.com



<https://www.fuji.ac.jp/academics/seminar/shizuka/>



神奈川県横浜市

プロフィール

1982年生、群馬県出身。横浜市「開国博 Y150」市民創発事業のチーフファシリテーターとして、180にも及ぶ市民創発プロジェクトを支援。以降、対話型のワークショップを通じた市民ムーブメントを仕掛けている。2011年～2013年、NPO 専門員として埼玉県県民生活部 NPO 活動推進課（現、共助社会づくり課）にて埼玉県内の NPO 支援に従事。現、東京富士大学経営学部 専任講師。NPO 法人ハンズオン埼玉 理事

自己紹介キーワード

ソーシャルデザイン、社会デザイン教育、非営利組織、市民活動、地域活性、イベント研究、若者研究

経歴・職歴・所属

- 2005年3月 東洋大学文学部哲学科卒業（文学士）
- 2007年3月 立教大学 21世紀社会デザイン研究科修了（社会デザイン学修士）
- 2007年4月-2008年3月 昭和女子大学学園本部（企画広報部）
- 2008年4月-2010年3月 ビッグバンハウス株式会社（プランニングディレクター）
- 2011年4月-2014年3月 埼玉県県民生活部 NPO 活動推進課（NPO 専門員）
- 2012年4月 日本工学院専門学校ミュージックカレッジコンサートイベント科 非常勤講師（音楽ビジネスマネジメント）
- 2014年4月 東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科（専任講師）
- 2019年4月-2020年3月 早稲田大学社会科学部 非常勤講師（社会デザイン実習）
- 2020年4月 産業能率大学経営学部経営学科 兼任講師（情報と社会、ソーシャルメディアの活用）

著書・論文

- 「ココ<此处>」が生まれる「コ<個>」のコミュニケーション - 「Expo2005-愛・地球博 地球市民村」の事例にみられるコミュニティの形成（立教大学大学院 社会デザイン学 修士論文）
- 「開国博 Y150 における市民参加に関する一考察」『イベント研究』第5号,JPEC イベント総合研究所,2012年12月
- 「ボランティア活動が学生の自己肯定感に及ぼす影響」『聖学院大学総合研究所紀要』No.61,聖学院大学,2016年3月(共著)
- 「コンテンツツーリズムとしての「街コス」～「ラブコスみやしろ 2016」を事例として～」『コンテンツツーリズム学会論文集』Vol.4,コンテンツツーリズム学会,2017年3月（共著）

- 「イベント研究における「余暇」の位置付けに関する考察」『イベント研究』第 11 号,JPEC イベント総合研究所,2020 年 2 月

活動・貢献領域

- 市民創発型イベント支援

横浜市「開国博 Y150」市民創発事業のチーフファシリテーターとして、180 にも及ぶ市民創発プロジェクトを支援。以降、対話型のワークショップを通じた市民ムーブメントを仕掛けている。

- オンラインによるあたたかい場づくり

コロナ禍におけるオンラインによる活動と実践を重ね、オンラインの場をあたためるポイントと、アイスブレイクアクティビティを研究開発。書籍なども発行している。

<https://hands-on-s.org/2021/05/17/atatakai/>

- 社会デザイン教育の研究開発

大学学部の一般教養科目の一部として、社会デザイン教育を展開するべく、先行実践例の調査・研究と、シラバスモデルや、そこで活用できるテキストブック（ワークブック）の作成を行うことを目的としている。